

2021(R3)年度
9月・12月
補正予算案
ごんごんは!

市議会だより

をお届けします!

第4回定例会は、総選挙後の論戦の場となりました。党市議団は、総選挙で掲げた「新型コロナ対策」「気候危機打開」「ジェンダー平等の実現」などの公約実現のため、大分市政にも積極的に提案しました。

また、市政懇談会などで頂いた市民の身近な要望等を取り上げ、願い実現を後押しする質問を行いました。引き続き、市政に対するご質問やご要望を、市議団へお寄せください。

歳入総額

2,421億9千万円

前年度より597億6千万円(32.8%)増

特徴：新型コロナ対策で国からの財源が566億8千万円増加。その他、個人市民税や道路改良事業などで増加

歳出総額

2,384億9千万円

前年度より533億9千万円(32.4%)増

特徴：新型コロナ対策の家賃支援事業など、補助費が503億1千万円増加。その他、私立保育所給付費や学校のタブレット導入などの事業で増加

2020(R2)年度 一般会計決算

歳入

形式収支：37億円

翌年度への繰り越し7億円を引くと…

実質収支：30億円

※金額は概数

歳出

2020(R2)年度末現在

借金残高は…1,682億2千万円
(前年より1億4千万円減)

市民一人当たりだと…35万2千円
(昨年より1,000円減)

大分市の
借金ば…

昨年度の決算で、共産党議員団が
反対した主な事業など

歳入

消費税や市民負担増の
社会保障費の値上げなどに反対

■消費税による歳入(消費税に反対する基本的立場から)

歳出

大企業や不要不急の大型事業、
市民サービス切捨ての事業などに反対

- 企業立地推進事業→大企業への助成は中小事業者に組み換えを求める
- 豊予海峡ルート推進事業→超大型公共事業の旗振りに血税を使うな
- 行革推進事業→ごみ有料化、学校調理業務の民間委託、公立幼稚園廃園などに反対
- 同和対策事業→逆差別を助長する同和事業ではなく憲法を基本にした権利擁護を

11月15日、134項目の政策要望を提出



昨年度の決算審査をもとに、新年度に向けた政策要望を行いました。新型コロナの感染対策拡充や事業者支援、ばいじん公害対策や子育て支援、DV支援対策などを佐藤市長に要望しました。

18歳以下の 10万円給付は 先議にて審議

日本共産党のみ質疑に立ち、所得制限やクーポン等、制度の問題点を指摘し、クーポンではなく現金での迅速な給付を求めました。また、DV世帯などに配慮し、相談窓口での丁寧な対応を求めました。

※国の方針転換により、12月議会閉会后、大分市も現金10万円の一括支給となりました。(専決)



9月・12月の補正予算・議会への意見書について

補正予算も
厳しくチェック!

9月補正予算

■大企業への助成金追加：7億3千万円

■マイナンバー推進関連：1億円

…に反対。○その他には賛成

12月補正予算

■児童手当の特例給付廃止に伴うシステム改修

■(仮)消防通信指令センター関連(行政システムの広域化)

…に反対。○その他には賛成



市議団が議会へ
提出した意見書

9月議会

「適格請求書保存方式(インボイス制度)導入の中止を求める意見書案」

→反対多数で不採択に

12月議会

「原油価格高騰対策に対する特別交付税措置の全額国庫負担を求める意見書案」

→全会派反対で不採択に

9月議会・12月議会の一般質問



**さいとう
ゆみこ
議員**

さいとう ▶ コロナ禍で必死に頑張ってきた事業者の息の根を止めるようなインボイス制度は、多くの事業者・労働者に関わる大問題だ。多くの業種団体から導入反対の声が上がっていることから、国に対し、消費税引下げと制度の導入中止を求めるべきだ

適正な課税を確保する観点で導入するものであり、制度の導入中止を求める考えはない。

さいとう ▶ 市民に身近な地区公民館を皮切りに、館内でネット利用できるよう整備を進めるべき

一般利用者が安心してネット利用できるよう、デジタル機器等の活用も把握・周知しながら、環境整備の協議を行っていく。

さいとう ▶ COP26を踏まえ、本市でも更なるCO2削減推進をすべし大企業への助成金に温暖化対策の用途を定めるべきだ

あらゆる分野での必要性を認識している。第3期大分市地球温暖化対策実行計画に、2030年度の削減目標を改めて設定し、着実に達成するための施策を盛り込んでいく。

さいとう ▶ 国の石油高騰対策の補助金を活用し、市民や事業者への支援を

この間も漁業者への燃油購入補助を行ってきた。今後、国会での審議の動向を注視していく。

さいとう ▶ 高齢者が階下へ住み替えたくても、現在、県営から市営には住み替えができない。また、高層階の空き戸対策には入居要件の見直しも必要だ。市営住宅の活用促進の為、条例改定を行うべきだ

今後、県営から市営にも住み替えできるよう見直しを検討する。また、高層階の空き戸活用に向け、高層階の家賃引き下げや、退去時の負担が軽減されるDIY住宅の導入、離職退職者やグループホームなどの目的外使用の活用を検討し、入居を促進していく。



**ふくま
けんじ
議員**

ふくま ▶ 米価の大暴落は深刻。政府に対して対応求めよ

県や農業団体と連携して消費拡大対策などに取り組むと共に、収入保険制度や収入減少緩和対策などのセーフティネットで生産者の経営安定に努めていく。

ふくま ▶ 大分・臼杵の風力発電事業、住民説明が不十分なのは問題

住民と事業者間で環境保全等の課題が生じており、本年4月「大分市再生可能エネルギー発電設備等に関する要綱」を施行、指導助言を行っている。引き続き、事業者に対し、丁寧な説明を行うよう強く要請していく。

ふくま ▶ 職員は過労死寸前だ。変異株も予断を許さない中、医療機関のベッドの確保や保健所の体制強化が必要だと考えるが。

医療提供体制については、必要な際、確実に入院できるよう、大分県地域医療構想調整会議で慎重に協議し、体制の整備に努めていく。また、保健所の体制についても、今年度同様、引き続き体制強化に努める。

ふくま ▶ 高額療養費払い戻しは、現在、3,000円以上ないと通知されていない。該当通知は金額に関わらず発送すべきと考えるが。

他都市の状況などを参考に、被保険者に不利益とならないよう、課題を整理し見直していく。

ふくま ▶ 公共施設(コンパルホールや地区公民館など)のトイレ整備は進んでいるのか。また、子ども用便座を配置すべきと考えるが。

市有施設のトイレ整備(洋式化など)について、利用者のニーズや施設の状況を踏まえ、順次行っていく。

こんにちは！ 控え室事務局です

事務局の吉光です。今年も市議団共々、どうぞよろしくお願いします。

新型コロナの不安は続いています。昨年も党市議団は、コロナ対策や福祉などの様々な問題を市民目線で取り上げてきました。

12月議会では、ジェンダー平等、環境問題、平和と安全など総選挙の公約実現のためにもしっかりと議論しました。

議案に対する質疑や反対討論を行ったのは、相変わらず党議員団のみでした。あの数分のために、膨大な時間をかけて政策を学んでいます。最終日の本会議の採決で、市民に不利益な議案には最後まで反対し、着席したままの2人を、私はいつも「すごいな」と思って見えています。そんな議会ですが、コロナの影響で、傍聴する方が少なく残念でした。

新たな年、以前の日常を取り戻す日が、一刻も早く来ることを願っています。

市政懇談会で ご意見・ご要望を

毎議会の報告と、ご要望を伺うための懇談会を開催しています。今回は11月13日に開催し、「灯油が高い!」「公共施設に子ども用の便座がほしい」など、ご要望を頂き、一般質問で取り上げました。

市政に対するご質問やご意見などを、ぜひお寄せください。



介護保険をよくする 会から申し入れ

今年度、改定が行われた介護保険制度。保険料は高くなる一方なのに、給付の対象外しが広がり、利用料などの自己負担分も上がっています。

10月28日、保険料の負担軽減や制度の改善を求め、長寿福祉課との懇談を行いました。



都町の料飲店が 支援の継続を要望

コロナ禍でお客さんは激減。時短要請などが解除されても、いまだお客さんは戻っていない。こうした経営者の皆さんの声を届け、市の支援を継続してほしいと12月20日、市長あてに要望書を提出しました。



灯油が高い、 なんとかして!

12月3日、生活と健康を守る会の方々と、低所得世帯への支援を緊急申し入れ。生活への負担軽減を求めました。

国は支援策の半額を財政措置するとしており、有効に活用し支援を行うよう求めました。



**2022(R4)年度第1回定例会は、
3/7から3/28までの予定です。**



←日本共産党大分市議団サイトはこちら
☆議会の質問の詳細はこちらどうぞ!
〒870-8504
大分市荷揚町2-31 大分市議会内
直通 TEL097-537-5695
FAX097-537-5791